

「衣類バンク」に 子ども用を贈呈

第一生命大宮支社

第一生命保険大宮支社は、さいたま市浦和区針ヶ谷の彩の国すこやかプラザで、県社会福祉協議会が運営協力して

いる「衣類バンク」に、子ども用衣類を贈呈した。式には坂口太夫支社長、さいたま営業オフィスの飯野和美営業部長らが出席。印南麻衣子県社協生活支援課長に子ども服や文房具を寄贈した。上木雄二県社協副会長から坂口支社長に感謝状が贈られた。

同社は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で営業活動



子ども衣類を「衣類バンク」に贈呈した第一生命保険坂口太夫支社長(中央左)らと、上木県社協副会長(中央右)。「さいたま市浦和区の彩の国すこやかプラザ」

ができなくなった4月から、全国1300拠点で地域社会への貢献活動を推進している。大宮支社管内の18営業所では営業拠点ごとに手作りマスク、古本、衣類などの寄贈や、学校・公共施設などの清掃活動に取り組んできた。

坂口支社長は「社員自らがアイデアを出し合い、社会福祉に貢献できる活動を実行している」とあいさつした。上木副会長は「頂いた子ども衣類は衣類バンクでお預かりし、希望者に活用してもらおう。思いをつないでいく事業をさらに広げて、県民の福祉向上に結び付けたい」とお礼の言葉を述べた。

さいたま営業オフィスでは、子ども衣類募集のチラシを作成し、40人の職員全員で新品か未使用の新生児衣料や子ども服、靴下、シューズ、帽子、文房具など500点を超える商品を集めた。段ボール6箱に納められた衣類は、困窮世帯や希望者に無料で提供される。今回の募集を推進してきた飯野営業部長は「今後も年何回か実施して活動を広げていきたい」と話した。

「衣類バンク」の問い合わせは、県社協生活支援課(☎048・822・1249)へ。(高梨肇)